



2025 年 10 月 31 日

各 位

会社名 東 リ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 永嶋 元博
(コード番号 7971 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務執行役員 管理本部長
荒木 陽三
(TEL:06-6494-6620)

当社連結子会社における不正会計行為に関するお知らせ

今般、当社連結子会社であるリック株式会社（以下、「リック」という。）におきまして、従業員による不正会計行為（以下、「本件」という。）が判明いたしましたのでお知らせします。

このような事態が生じたことは誠に遺憾であり、株主の皆様をはじめとする関係者の皆様に、多大なるご迷惑とご心配をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 経緯

当社連結子会社であるリックは、当社ブランド製品や仕入製品の卸販売、並びに内装工事等を行っております。当該従業員は 2023 年 3 月期より、工事取引において採算割れが見込まれた際、仕入事業者との間で架空の請求等を行い、その相当額を自らの売上高に計上し、見かけ上の黒字を繰り返しておりました。この不正会計行為は複数回に及び、工事案件ごとの売上高と工事原価の不整合を精査した結果、本件の発覚に至りました。その間、請求書及び印章等の偽装が繰り返され、当社グループの内部統制システムにおいて検知することができませんでした。尚、現時点での損失額は約 115 百万円と判明しております。

2. 当社グループの対応について

本件におきましては、外部の専門家とともに社内調査を行い、当該従業員及び関係者に対する事情聴取、並びに資料・メール等の確認を実施し、全容の究明を進めております。また、当社、並びに連結子会社における同種の取引についても、不正会計の検出を目的とした調査を実施しております。その結果、現時点においては当該従業員単独によるものであり、その他の取引では同様の事象は検出されておられません。

本件発生の原因は、特定従業員のコンプライアンスに対する認識の欠如、並びに上長による日常の業務管理や受注・入金等に関する不完全な承認プロセスによるものと認識しております。今般の不正会計行為の発覚を受け、当社グループの内部統制システム上における不備を真摯に猛省し、当該業務プロセス（工事取引）を中心とする内部統制を徹底強化し、再発防止に努めてまいります。

3. 業績に対する影響について

現時点で想定される連結業績に与える影響につきましては、2025 年 10 月 31 日に開示しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に織り込んでおります。また、今後、新たに開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上